

PD82・89 高精度気体用重錘型圧力計

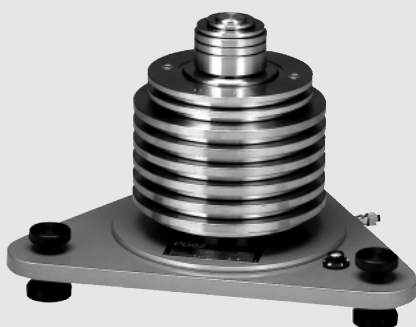
Model PD82-89 Precision Dead-weight Testers

概要

PD82重錘型圧力計は、研究・製造用機器の標準圧力発生装置等に使用されます。又、中圧領域（0.3～2MPa）の広い圧力範囲で社内や事業所標準となる圧力標準器としても使用できます。

特長

- ・ Jcss 校正証明書対応品。
- ・ 本器はドライ窒素ガスを媒体とした高精度の重錘型圧力計です。
- ・ 各種精密圧力機器の校正に、あるいは各種装置の基準圧力発生装置として適しています。
- ・ 受圧部はピストン・シリンダ方式のため安定した高精度の基準圧力が得られます。
- ・ 重錘の材質は鍍、磨耗、磁性等を考慮してステンレスを使用しています。



JCSS
0080

は、計量法に基づく
トレーサビリティ制度のロゴです。弊社、上田計測機器工場は
「圧力」区分の認定事業者で、0080は認定番号です。

製作仕様1

形式：
卓上型
使用媒体：
窒素ガス
操作：
手動式
圧力レンジ：
0.3 2MPa

精度：
±0.02% of reading
外装色：
パールライトグリーン
本器質量：
15kg

重錘構成

形番	測定レンジ MPa			有効断面積 cm ²	重錘表示量 MPa												重錘 総実質量 約 kg	
	最大	最小	最小区分		ピストン		錘形		重錘									合計
					0.004	0.02	0.026	0.13	0.001	0.002	0.005	0.01	0.02	0.05	0.1	0.2		
PD82- MO1	0.3	0.004	0.001	5	1		1		1	2	1	1	1	5		0.32	16	
	0.5				1		1	2	1	1	1	1	4		0.52	26		
	1	0.02	0.005	1			1				1	1	2	1	8		1.055	10
	2						1		1	1	2	1	2	8		2.055	21	
PD89- MO1	0.3	PD82と組合わせて使用																
	0.5																	
	1																	
	2																	
	5																	

気体用重錘型圧力計の設置場所は20℃の恒温室が望ましいのですが、さもないければこれに準ずる場所を選んで下さい。ご指示により設置場所の重力加速度に合わせた重錘質量調整ができますのでご指定下さい。なお、ご指定がない場合は重力加速度を9.80665m/s²(国際協定基準値)で製作致しますので、使用時は基準分銅で補正の必要があります。測定圧力0.03MPa以上で0.02%の精度が保証されます。

製作仕様2

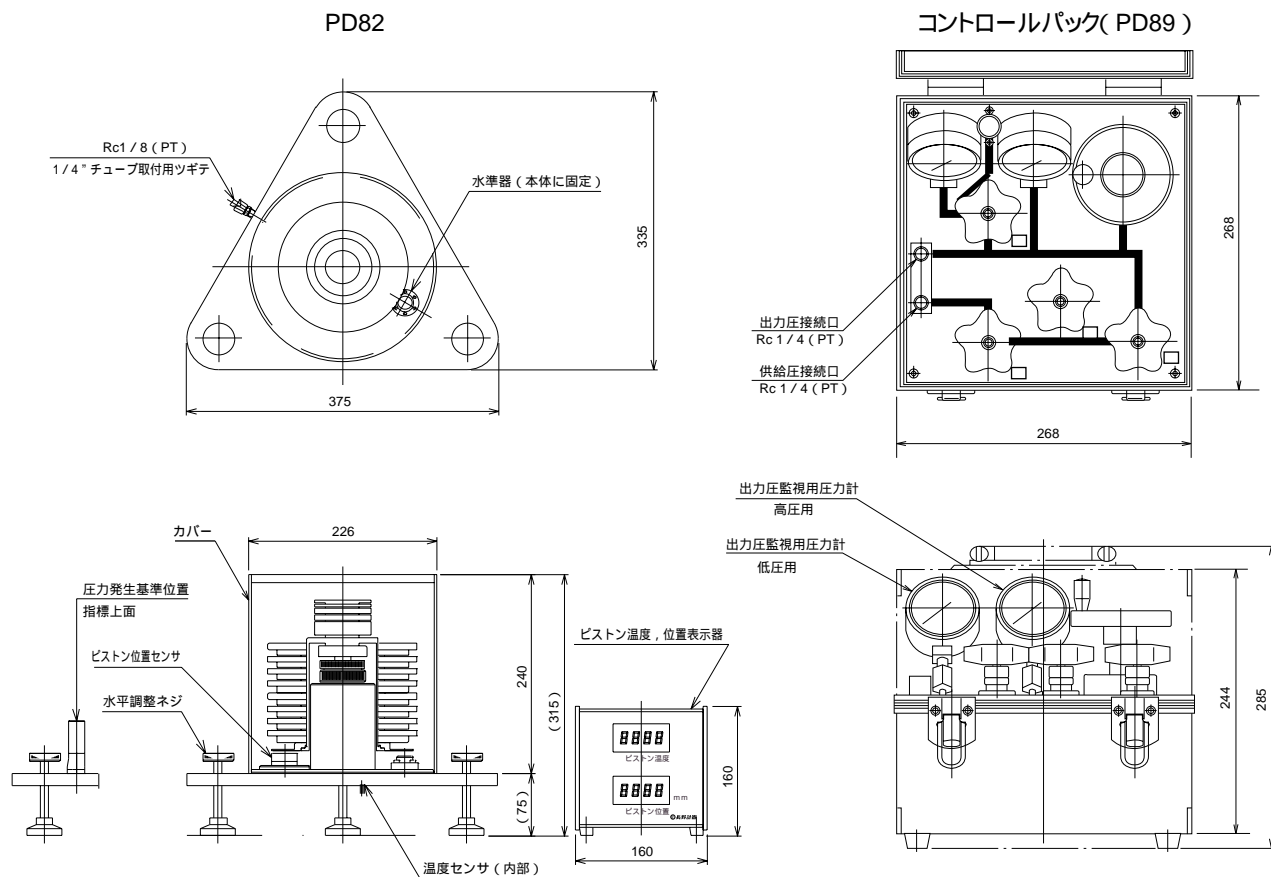
PD89-M01：コントロールパック

本器は主として気体用重錘型圧力計に加えるガス圧力を精密調整するための機器です。
微量調整用バルブ及び微調整用ハンドポンプを内蔵してありますので圧力のコントロールが容易です。

PD82はPD89相当の操作系をお客様自身で準備していただくか、PD89とセットでご使用下さい。
弊社としては、PD82と PD89をセットで使用することをおすすめします。

本器質量：
7.5kg

外形寸法



付属品・オプション

モデル	計器台	接続用継手類	予備品・付属品				本体 格納箱	重錘 格納箱
			数量	品名	数量	品名		
PD82	1 (オプション)	・1/4 - R1/4 (PT) ストレート ・1/4 - R1/4 (PT) エルボ ・1/4 - R1/4 (PT) サービティー ・接続用チューブ	1	・ブラシ	1	・フィルタ交換用	1 (オプション)	1
			1	・プロワー	1	・スクリューバー		
			1	・ワイパホルダ	1	・ワイパー		
			2m	・ワイパホルダ用 ハンドル	1	・Oリング (P18)		
					1	・Oリング (P22又はP40) ・フィルタ		
PD89		・1/4 - R1/4 (PT) ストレート ・1/4 - R1/4 (PT) エルボ ・1/4 - R1/4 (PT) サービティー ・G1/4 - Rc1/4 (PT) 継手 ・R1/4 プラグ ・G1/4 プラグ ・接続用チューブ	1				1	
			2					
			1					
			1					
			1					
			1					
			4m					

ご使用にあたって

振動が多い場所、ホコリやゴミの多い環境、また腐食性雰囲気、直射日光は避けて下さい。
 重錘型圧力計は必ず水平になるように設置して下さい。傾いていると正しい圧力を示しません。
 急激な加圧・減圧は危険ですから避けて下さい。(バルブ等の開閉はゆっくり行います)
 本器に示されている最高圧力以上の圧力を加えることは危険であるばかりでなく、機器を破損する恐れがありますので注意して下さい。
 重錘は正確に製作されていますので、サンドペーパーをかけたり、落としたりしないで下さい。

形番構成 ご用命に際しては、形番、各仕様及び圧力レンジをご指定下さい。

(注：本機種においてX印の桁には仕様項目がありませんが、ご用命の際はXでご指定下さい。)

